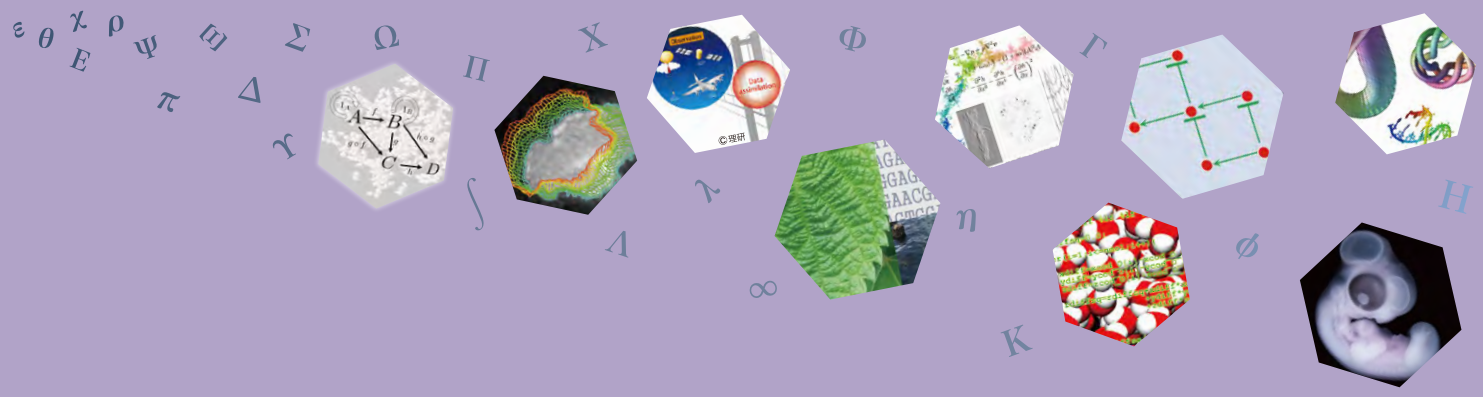
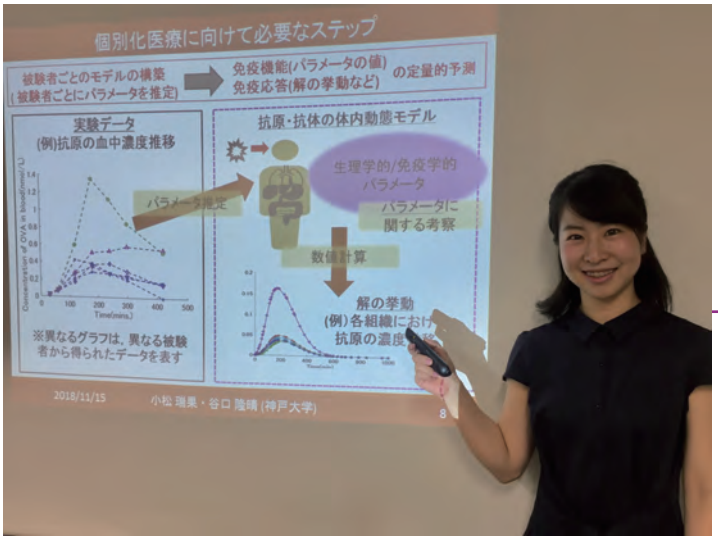


MACSセミナー

スタディーグループ④「理学における代数的手法」

2019 6.24 | 月 | 16:30~18:00　北部構内 理学部3号館 数学教室110号室

微分代数を用いたモデル解析のシステムバイオロジーへの応用



講師　**小松 瑞果**　氏

神戸大学大学院
システム情報学研究科

システムバイオロジーは、生体内の様々な現象を、その相互作用などを含めて統合的に解析する分野である。多くの場合、着目する系は、数理モデルで表され、これを用いた解析を行う。例えば、系から観測された時系列データを用いてモデルパラメータを推定することにより、パラメータが表す生物学的機能などを解析する。しかし、実験に関する様々な制約から、データが十分に得られず、パラメータが一意に定まらない場合がある。本講演では、このような問題に対する、微分代数を用いた解析手法を紹介し、実問題への応用例を示す。

世話人：石塚裕大 (yasu-ishi@math.kyoto-u.ac.jp)

SCIENCE KYOTO U

MACS 教育プログラム
数理を基盤として新分野の自発的創出を促す理学教育プログラム

macs京大　検索